

## 序 Preface

21世紀になって7年。「経済のグローバル化」の波濤は、地球上のあらゆる場所に様々な影響を及ぼしています。このような現象は、恐らく30年前には誰も予想できなかったことでしょう。ちなみに、イギリスのエリック・ホブズボームという歴史学者は、経済の巨大化が政治・社会システムを疲労させ、伝統的な社会関係を解体する、これから「何が起きるか分からない」と指摘しています（河合秀和訳『極端なる時代—20世紀の歴史』三省堂、1996年）。

この歴史家の言を待つまでもなく、少子高齢化、財政逼迫、市街地の空洞化、医師・看護師不足、医療費の高騰など、近年の地域社会は刻々と変化しています。つまり、地方自治体の人口構造や財政構造が縮退し続けています。このような現象に対処できるのは、創造的な「知の力」しかありません。

富山大学の大きな特色の一つは、多様な分野の、しかも多数の教員を擁していることです。特に、杉谷キャンパスには、医学部、薬学部、和漢医薬学総合研究所、附属病院等に、多数の教職員が医薬学分野の教育研究に従事しています。そして、その成果をまとめ、旧富山医科薬科大学時代の昭和52年度から『研究活動一覧』を刊行してきました。平成19年度版で第31輯になります。

医療・福祉水準の維持・向上は健全な地域社会の存続を左右する要件です。杉谷キャンパスの教育研究活動の公表は地域社会の再構築の「カギ」を握っているといえます。また、平成15年度採択の21世紀COEプログラム「東洋の知に立脚した個の医療の創生」も高い評価を得て、今年度で一区切りつくことになります。関係者は新たな発展に向けて努力を続けています。

最後に、長年にわたり地道な編集作業の継続により、出版に尽力されてきた編集委員会各位に厚くお礼を申し上げます。多くの研究者の方々がこの『研究活動一覧』を活用していただけることを祈念いたします。

学 長 西 頭 徳 三  
President Saito Tokuso